

令和6年度第三者評価 改善状況報告書

令和7年3月31日

施設名	港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂（短期入所）	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区赤坂6-6-14	指定管理者	社会福祉法人 東京聖労院

改善すべき指摘内容等	対応事業者 （共同事業者の場合記入）	令和7年3月までの改善状況等 （指定管理者記入欄）	令和7年4月以降の取組予定 （指定管理者記入欄）	所管課確認欄 （施設所管課記入欄）
施設の事業計画・予算計画の推進に当たっては、経営層が、収入・稼働率・経費・人員計画などの数値目標を設定し、毎月・4半期・半期ごとに進捗状況の確認を行っている。 また、毎月の法人運営委員会では計画の進捗確認と見直しを行うと共に、目標数値と実績に乖離がある場合は、毎月の課長会で原因を分析し対策を講じ、計画の実践に取り組んでいる。 施設では、事業計画・予算計画について、職員会議や係のミーティング等で周知しているが、生産性や効率性の更なる向上に向け、地域へのアピールや職員募集サイトの充実が望まれる。		施設全体の取組として、業務検討委員会を立ち上げ、1～2か月に1回のペースで開催した。 国が求めている生産性向上に必要な項目の「①負荷が集中する時間帯の業務を細分化し、個人に集中することがないよう平準化すること」「②利用者の介助に集中して従事する介護職員を設けること」「③いわゆる介護助手の活用（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ごみ捨て等、利用者の介助を伴わない業務を集中的に実施する者を設けるなどの取組）を行うこと」「④利用者の介助を伴わない業務の一部を外注すること」について話し合いを進め、各フロアの必要な時間に介護助手職員を配置し対応した。 地域へのアピールでは、地域懇談会の開催と共に、福祉避難所の設置訓練に関する説明を地域の皆様へ報告した。 職員募集サイトについては、募集状況を毎月確認し、必要な募集をそのタイミングで行っている。	港区介護ロボット等導入支援補助金の検証施設に選定され、生産性向上の専門家や港区介護保険課が、業務検討委員会に参画いただける予定。施設職員のみでは、検討の視野が狭くなってしまう恐れがあり、専門家や第三者の参画によって、更なる生産性の向上に取り組んでいきたい。 こうした取組を地域に積極的に発信し、職員募集にもつながるよう、周知内容や方法を充実させていく。	定期開催中の業務検討委員会において、生産性向上に向けた話し合いを行い、その計画を着実に実践し、地域へのアピールに取り組んでいることが評価できる。 今年度は、介護ロボット等導入支援補助金の検証施設に選定されたことを受け、専門家の意見も参考に、更なる生産性向上に取り組むことを期待する。 さらに、地域福祉の増進につながるよう、積極かつ効果的な周知についても期待する。
業務管理ソフトの導入により、個別の情報、連絡時事項の確認、情報共有の仕組みなどの面で、業務の効率化につながっている。しかし、従前の書類の方が使い易いケースでは、業務管理ソフトと併用する状況も見られる。 今後、サービス利用開始前の情報をソフトで一元化できれば、初回面談時などの業務をより効率的に遂行できると考えられる。 こうした取組により、利用者に関わる時間を増やし、利用者サービスの質向上につなげることが望まれる。		ケース記録をはじめ、行事計画書・行事報告書・事故報告書を介護ソフトに移行できた。 一方、指摘のように排泄版等は移行の有無を検討中（当施設の考え方をソフトに合わせられるか否か）。 起案書や報告書等これまで回覧していた書類については、紙による保管が必要なもの以外はデータ申請に切り替えるなど、電子決裁の仕組みを導入している。	今年度中に、眠りSCANを導入し、特養・短期の利用者における眠りの質の状態を把握することで、より精度の高い利用者の体調管理につなげる。 また、職員が様々な場所で入力できる環境を整備するため、iPhoneを導入する。こうして生み出した時間を利用者サービスの向上につなげていく。	ソフトによる資料のデータ管理化が着実に進んでいる。 紙による管理が必須なものを除き、更なるペーパーレス化の推進に期待する。 業務の効率化によって生み出した人や時間を利用者サービスの向上に活用していくことを期待する。
現在は、利用者の状態に合わせて5種類の入浴方法（一般浴、個人浴、リフト浴、臥床式機械浴、座位式機械浴）から選択できている。 一方、飲み物をこぼした際などの粗相に対し、浴槽には入らず、急ぎ清潔にしたい場合があると思われる。こうした状況をケアできるよう、シャワー専用スペースの設置が望まれる。		失禁対応について、2階では、シャワーを浴場のみに設置し対応中。 3階では、食堂横にもシャワー専用スペースを設け、対応できている。	2階フロアにシャワーの増設ができないか検討する（浴場以外）。 また、急ぎ清潔にしたい利用者をスムーズに浴場まで誘導できよう、インカムを用いて職員が連携するなど、運用面での工夫にも取り組んでいく。	2階におけるシャワー専用スペースの設置について、早期の検討を望む。 新設が困難な場合においても、利用者にとって最適な対応を講じることができるよう、引き続き、用面での工夫や改善に期待する。